# LSI コントローラの RAID ボリュームに対する整 合性検査を無効にする

#### 内容

概要 <u>前提条件</u> <u>USRM/VRSMインスタンスを終了してから整合性チェックを無効にする</u> <u>ユーティリティをダウンロードしています。</u> <u>RedHat/Linuxのコマンド</u> <u>ESXiの手順</u> <u>VMware ESXi 5.xへのインストール</u> VMware Vsphereのコマンド

#### 概要

このドキュメントでは、厳密な入出力(I/O)要件を持つ一部のアプリケーションに悪影響を及ぼす 可能性があるLSI RAIDコントローラのRedundant Array of Individual Disks(RAID)コントローラ整 合性チェックを無効にする手順について説明します。 このような要求の厳しいI/O要件を持つア プリケーションのグループがUniversal SessionとResource Manager/Videoscape Session Resource Manager(USRM/VSRM)になった場合、整合性チェックの実行中に発生する可能性のあ るI/O待機の影響を無効にすることをお勧めします。 <u>CSCuw01134</u>を参照してください

## 前提条件

Cisco Unified Computing System(UCS)M3ラックサーバ(LSI 92XXモデルのRAIDコントローラ搭載)

整合性チェックを無効にするには、USRM/VSRMアプリケーションのメンテナンスウィンドウが 必要です。

#### USRM/VRSMインスタンスを終了してから整合性チェックを無効にする

UCS C220には、最大8つのUSRM/VSRMインスタンスがあります。 整合性チェックを無効にす る手順を実行する前に、各インスタンスを終了する必要があります。 整合性チェック手順が完了 したら、各インスタンスを手動で再起動する必要があります。

注:次の2つのプロセスは、個々の顧客システム/要件に関して記述された高度なMethod of Procedure(MOP)に含める必要があります。 以下に、いくつかの例を示します。MOPには、サー バのフェールオーバーとフェールバックの調整が含まれ、お客様への影響を最小限に抑えること ができます。 MOPでは、お客様ごとに異なる要件に対応できます。

USRM/VSRMソフトウェアを終了するには、次の手順を実行します。 注:USRM/VSRMの各インスタンスに対して、次の手順を実行する必要があります。

1. ブラウザでUSRM/VSRM Webユーザインターフェイス(UI)を開きます

2. [Reset]ページに移動します

- 3. ドロップダウンボックスを使用して、[ServerState]を[Terminate]に設定します。
- 4. [Commit Changes] ボタンをクリックします。

Result:USRM/VSRMソフトウェアは終了し、再起動しません。

整合性チェックを無効にするプロセスが完了したら、USRM/VSRMの各インスタンスを手動で開 始する必要があります。 USRM/VSRMの各インスタンスで次の手順を実行します。

1. USRM/VSRMへのオープンおよびSSHセッション。

- 2. 適切なディレクトリに移動します USRMの場合:/opt/usrmVSRMの場合:/common/usrm
- 3. 次のコマンドを実行して、USRM/VSRMを起動します。 ./usrm —<オプション(自動また は監視)> -d 監視モードの例:./usrm – 監視される – d自動モードの例:./usrm —auto -d 注:オプションの前には2つのダッシュがあり、「d」パラメータの前には1つのダッシュがあり ます。

Result:USRM/VSRMソフトウェアは要求の処理を開始および開始します。

## ユーティリティをダウンロードしています。

StorCliユーティリティhttp://docs.avagotech.com/docs/12351437をダウンロードします。

StorCLIのzipファイルには、異なるオペレーティング・システム(OS)プラットフォーム用の インストール・ファイルを含むフォルダがあります。

RedHat Linuxへのインストール

zipファイルの/StorCli\_**All\_OS/Linux/フォルダからstorcli rpmファイルを抽出**し、インストールし ます。

# rpm -ivh <StorCLI-x.xx-x.noarch.rpm>

### RedHat/Linuxのコマンド

Change to the folder where storcli64 executable file was installed to, typically /opt/MegaRAID/storcli/ #cd /opt/MegaRAID/storcli

Check to make sure no consistency checks are currently in progress storcli]#./storcli64 /c0 /vall show cc

VD Operation Progress% Status 0 CC - Not in progress <<<<<< 1 CC - Not in progress <<<<<<<<</pre>

From the output above, if any of the VDs show anything other than 'Not in progress', then issue the command to stop any consistency checks running: ./storcli64 /c0/vall stop cc

Issue the command to disable consistency checks from being run in the future:
./storcli64 /c0 set cc=off

Confirm that consistency checks have been disabled:

#### ./storcli64 /c0 show cc

Confirm the CC Operation Mode line shows 'Disabled'

#### ESXiの手順

Vmware ESXi環境で整合性チェックを無効にする必要がある状況では、StorCLIユーティリティの インストールプロセスは異なりますが、storcliコマンドの構文は同じです。 vSphereでは、セキ ュアシェル(SSH)はデフォルトで無効になっています。ホストでSSHターミナルを開く前に、 SSHを有効にする必要があります。

VMware ESXi 5.xへのインストール

zipファイル内の/StorCli\_**All\_OS/Vmware-MN/フォルダからvmware-esx-storcli-xxxxxx.vibフ**ァイル を抽出/コピーします。

vmware-esx-storcli-xxxxxx.vibファイルをESXiホストのローカルファイルシステムに/tmpフォルダ にコピーします。

次に、esxcliコマンドを実行してインストールします。 #esxcli software vib install -v "/tmp/vmware-esx-storcli-xxxxxx.vib" -no-sig-check

#### VMware Vsphereのコマンド

Change to the folder where the Storcli executable was installed to, typically /opt/lsi/storcli #cd /opt/lsi/storcli

Please note the ESXi storcli executable is storcli Check to make sure no consistency checks are currently in progress storcli]#./storcli /c0 /vall show cc

VD Operation Progress% Status

0 CC - Not in progress <<<<<<<

1 CC - Not in progress <<<<<<

From the output above, if any of the VDs show anything other than 'Not in progress', then issue the command to stop any consistency checks running: ./storcli /c0/vall stop cc

Issue the command to disable consistency checks from being run in the future: ./storcli /c0 set cc=off

Confirm that consistency checks have been disabled: ./storcli /c0 show cc

```
Controller Properties :
```

\_\_\_\_\_

Ctrl\_Prop Value

CC Operation Mode **Disabled** <<<<<<< CC Execution Delay 0 CC Next Starttime 06/20/1999, 19:00:00 CC Current State Stopped CC Number of iterations 0 CC Number of VD completed 0 CC Excluded VDs None

Confirm the CC Operation Mode line shows 'Disabled'